

市民まちづくりワークショップの各グループの意見

日時:平成 30 年 7 月 13 日(金)

第一部 14:00~16:00

参加者 25 人 (①グループ:6 人、②グループ:6 人、③グループ 5 人、事務局:8 名)

1. ワークショップの結果

①グループ

身近な活動(普段、日常的にできるもの)

◆活動のイメージ

- ・あいさつ
- ・ヘルプマーク
- ・家庭内での防災対策
- ・資源ゴミの回収(町内会)
- ・ゴミ出し場所の管理を町内会毎にしっかり見守ってほしい
- ・ゴミ問題
- ・一人暮らしの高齢者の役に立つこと
- ・除雪
- ・除雪費の支払いの声掛け

◆参加するために必要なきっかけ、ツール、場所、情報など

- ・子どもからあいさつしてくる(教育)
- ・情報提供 実際の時のシミュレーション
- ・実体験の話
- ・まちのルールを知ってもらう(ゴミなど)
- ・周りの人を気に掛ける
- ・ハンデのある人への配慮
- ・学校など困っている人の状況を学ぶ

◆その他(枠外)

- ・住んでいる人をどうやって知れるか

町内会活動や団体活動(NPOなど)への参加・協力

◆活動のイメージ

- ・子ども会、町内会、PTA
- ・災害の啓蒙活動
- ・防災避難
- ・避難経路
- ・女性部の旅行
- ・役員が多い
- ・新幹線、道路を作るなど
- ・施設整備

◆参加するために必要なきっかけ、ツール、場所、情報など

- ・高齢者活動免除、会費払うのみ、活動している人にお金を払う
- ・転入者への情報発信
- ・高齢者やハンデがある人が外に出やすいまちづくり(バリアフリー)
- ・会費払う使いみちを知ってもらう

- ・町内会役員企画運営する人にお金払う
- ・所属の町内会を教える
- ・入会するのとしらないのとどちらがうか
- ・共同住宅へのアプローチ
- ・関わりたくない人が多い
(町内会への参加のために)
- ・楽しいイベントに参加
- ・楽しい敷居の低いイベント

自ら企画して行う活動（地域を良くするために、意識的に取り組むもの）

市役所などがやるもの

◆活動のイメージ

・

◆参加するために必要なきっかけ、ツール、場所、情報など

②グループ

身近な活動（普段、日常的にできるもの）

1. 活動のイメージ（参加するために必要なきっかけ等と関連付けて話したもの）

活動のイメージ	参加するために必要な きっかけ、ツール、場所、情報など
子供達が安心して大人と挨拶したりして交流できるようにすることや、近隣の人への声掛けなど地域の人が安心して暮らせるような福祉対策が考えられる。	活動する際に、不審者ではないということが一目で分かるように、共通の腕章を着用やステッカーを掲示する。そのようにすることで、声掛けする側も見守られる側も、双方が安心できるように参加しやすくなると思う。
札幌市や自分の住んでいる地域を楽しめるように、老若男女や障がいの有無に関わらず、誰でもが参加できるように色んな活動があれば良い。	<ul style="list-style-type: none"> 活動に関する情報を広報誌や掲示板でお知らせする。また、情報をただ流すだけではなく、主催者から直接的な声掛けもあったらよい。 小さな取組みを沢山増やしていくことで、参加できそうな活動の選択肢を広げる。

2. 活動のイメージ（その他）

3. 参加するために必要なきっかけ、ツール、場所、情報など（活動全般に必要なもの）

- 自分の居住地域内では、どのようなボランティアなどの活動があるか情報があればよい。
- 高齢者でも元気で活動したいという人もいると思うため、年齢問わず関わられるような仕組みがあればよい。
- 札幌市内でパフォーマンスをしながらゴミ拾いする人達のように、良い事をするのは格好良いということが広まっていけば、若い人達も参加するようになるのではないかと。

町内会活動や団体活動（NPOなど）への参加・協力

1. 活動のイメージ（参加するために必要なきっかけ等と関連付けて話したもの）

活動のイメージ	参加するために必要な きっかけ、ツール、場所、情報など
町内会や自治会は高齢化が進行しているため、区ごとや居住地域内で濃密にコミュニケーションがとれるようにすることで、災害時のセーフティネットにも繋がると思う。	皆が交流会などに参加しやすくなるように、情報の発信方法の工夫が必要になると思う（回覧版などではなく、手元に残るような情報媒体）。
防災対策の活動がイメージとしてある。	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から防災対策に関わってもらえる機会を作ることが必要で、例えば水害に備えてマンホールの掃除など身近な活動から行う。 災害が少ないことから、負担は防災に対する意識が低いと、災害のニュースなど意識が高くなる時に防災訓練を行う。

2. 活動のイメージ（その他）

3. 参加するために必要なきっかけ、ツール、場所、情報など（活動全般に必要なもの）

- 町内会の活動について、日中働いている人などは積極的に参加することが難しいため、都合に合わせて参加できるモデルプランなどがいくつかあると参加しやすくなり、高齢化が進む役員の負担軽減にも繋がると思う。
- 町内会が、それぞれの意見でより良く変えていける組織ということをアピールして分かってもら

えるようになれば、若い人の参加も促せるのではないかと。

- ・厚別区のもみじ台団地のように、学生と町内会が関わるような仕組みがあり、学生が頑張っている姿をみると自分達もやってみようという気持ちが出てくると思う。
- ・同じ町内会にいても他の人の状況が分からないので、世代間交流ウォーキング大会など、多世代や同世代が交流できる場があるとよい。開催目的やテーマが明瞭なものだと参加しやすいと思う。

自ら企画して行う活動（地域を良くするために、意識的に取り組むもの）

1. 活動のイメージ（参加するために必要なきっかけ等と関連付けて話したもの）

活動のイメージ	参加するために必要な きっかけ、ツール、場所、情報など
子育てサポートは、イメージしやすいので比較的参加しやすいと思うが、内容によっては難しい場合も考えられる。	自分達に出来ることであれば参加したいと考えた際に、どのような内容のサポートをするのかといった情報が必要である。

2. 活動のイメージ（その他）

3. 参加するために必要なきっかけ、ツール、場所、情報など（活動全般に必要なもの）

- ・個人単位でも意見や提案を言えるようなルートがあれば良いと思う。

その他

1. 活動のイメージ（参加するために必要なきっかけ等と関連付けて話したもの）

活動のイメージ	参加するために必要な きっかけ、ツール、場所、情報など
まちづくりというと他都市との連携や、コンパクトシティ化などのイメージがあるが、一市民が考えるには大きすぎる内容で難しい。	市民の様々な活動の要素が連なっていくことで、他都市との連携や、コンパクトシティ化に繋がっていくこともあるのではないかと。

2. 活動のイメージ（その他）

3. 参加するために必要なきっかけ、ツール、場所、情報など（活動全般に必要なもの）

③グループ

身近な活動（普段、日常的にできるもの）

1. 活動のイメージ（参加するために必要なきっかけ等と関連付けて話したもの）

2. 活動のイメージ（その他）

- ・向こう3軒のお付き合い
 - ➡これがまちづくりの基本であり、ここからの小さな関わりや交流が積み重なって発展していくと思う。
- ・趣味の共有
- ・独り暮らしへの高齢者宅への訪問、手助け
- ・声掛け運動（あいさつ）
 - ➡あいさつは防犯にも効果的だと思う。
- ・回覧板で見守り
- ・町内のゴミ拾い
- ・体操、ダンス

3. 参加するために必要なきっかけ、ツール、場所、情報など（活動全般に必要なもの）

町内会活動や団体活動（NPOなど）への参加・協力

1. 活動のイメージ（参加するために必要なきっかけ等と関連付けて話したもの）

活動のイメージ	参加するために必要な きっかけ、ツール、場所、情報など
<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備が十分でない場合など、行政への働きかけ（歩道の不陸があると足が悪い人には歩きにくい） 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会などが情報を集約するなど、行政に適切に伝える体制づくり

2. 活動のイメージ（その他）

- ・花火大会
- ・ラジオ体操
- ・お祭り
- ・フリーマーケット
- ・公園の活用
- ・古紙回収
- ・花植え（街路ますなど）
- ・公園の草刈り
- ・除雪
- ・高齢者宅の雪はねのボランティア
- ・子供会活動
- ・子供たちへのマナー向上促進
- ・子どもたちの登校時における見守り

3. 参加するために必要なきっかけ、ツール、場所、情報など（活動全般に必要なもの）

まちづくり活動全般

1. 活動のイメージ（参加するために必要なきっかけ等と関連付けて話したもの）

2. 活動のイメージ（その他）

3. 参加するために必要なきっかけ、ツール、場所、情報など

(体制、担い手など)

- ・市役所と町内会がより密接につながりをもつことが必要である。
- ・もみじ台団地の取組のように、集合移住に住む若者（大学生など）が増えると良いと思う。
- ・まちづくり活動に参加する人を集めるためには、適切な対価が支払われるべきだと思う。

(情報発信)

- ・町内会の一部の人には行政からの情報が伝わっているのかもしれないが、一住民までには行き届いていない。
- ・札幌市のような取組（ワークショップ用模造紙に記載）は知らないものばかりである。ターゲットをより絞って発信してはどうか。
- ・若い世代に情報を届けたいのであれば、SNS を活用してはどうか。

その他

(参加の動機)

- ・まちづくりのことを知りたいと思って参加した。
- ・マンションにおけるまちづくり活動の参考になれば良いと思い参加した。

(集合住宅における問題・課題)

- ・子供のころから居住している集合住宅は少子化が進んでおり、お祭りなどを実施しても参加する子供がかなり減ってきていると感じている。また、高齢化が進み、まちづくり活動に取り組む人が減ってきていると思う。
- ・まちづくり活動に参加する人はいつも決まっており、担い手、中心となる人が必要である。
- ・近隣住民の顔が見えにくい。例えば自分の地元（函館）では、引っ越しの際に隣近所にあいさつに伺うことが当然だったが、札幌ではあいさつに来た人がいない。
- ・情報が共有されにくいと感じている。良くない情報は敢えて共有されていないと感じることがある。
- ・イベントなど地域の交流機会は良いものだと感じる人が多い一方で、否定的な人が必ずいる（例えば騒音に対してなど）。
- ・昔に比べ子どもに注意や声かけがしにくく、つながりがもちにくいと感じる。
- ・安全な環境づくりは重要なことだと感じる一方で、最近はずかな危険性があるだけでも禁止となるが増え、いき過ぎている感があると思う。以前は集合住宅の子どものプレイルームが開放されていたが、いつの間にか閉鎖されており、安全面を優先させたのかもしれないが少し寂しい気もしている。

(その他)

- ・まちづくり活動は、誰かが知らないうちにやってくれてありがたいものだとは何となく感じていた。
- ・広報さっぽろは以前より見にくくなったと感じる。どこに何が書かれているかよくわからない。

第二部 18:30～20:30

参加者 20 人（①グループ:3 人、②グループ:5 人、③グループ:4 人、事務局:8 名）

1. ワークショップの結果

①グループ

身近な活動（普段、日常的にできるもの）

1. 活動のイメージ（参加するために必要なきっかけ等と関連付けて話したもの）

	活動のイメージ	参加するために必要な きっかけ、ツール、場所、情報など
参加しやすいもの	・あいさつ、防犯、コミュニケーション	・子供達が模範となって、あいさつするようにする。→大人にも意識させ、あいさつすることを広める。 ・ゴミ拾いを行うことにより、あいさつからコミュニケーションが取れる。
	・防犯活動 →防犯のために、家の周りの方へ声掛けを始めコミュニケーションがとれるようになった。（自宅の空き巣未遂によって、警察から周囲への周知をお願いされたことがきっかけ）	・空き巣による周囲への呼びかけや子供が生まれたなど、何か活動を起こすにはきっかけやタイミングも必要。
参加が難しいもの	・SNS やネットを活用した活動情報の取得において、若い方は活用しやすいが、高齢の方では情報がしぼりづらいことが多々あり、参加を難しくしている部分があるのではないか。（若い方はよく利用するが、高齢の方にはやや不便）	・活動情報の広報媒体が SNS やネットでは高齢の方の利用は難しいので、紙媒体において、構成を工夫し文字を大きくするなど多世代が見やすいようにする。

2. 活動のイメージ（その他）

[参加しやすいもの]

- ・ゴミ集積所の清掃をしている。（時々カラスが散らかすので）
- ・病院内での弱い方へのボランティア

3. 参加するために必要なきっかけ、ツール、場所、情報など（活動全般に必要なもの）

[参加しやすいものについて、さらに参加を促すために]

- ・知っている人から少しずつ活動を広げていく方法もある。

町内会活動や団体活動（NPOなど）への参加・協力

1. 活動のイメージ（参加するために必要なきっかけ等と関連付けて話したもの）

	活動のイメージ	参加するために必要な きっかけ、ツール、場所、情報など
参加しやすいもの	<ul style="list-style-type: none"> 介護ヘルパーさんを派遣している NPO 法人の活動があり、地元で何か役に立ちたいと思っているお母さん達に参加していただくことで、地元で貢献でき雇用にもなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動において、一方通行ではなく、本当にお互いの要求事項が合致していることが必要。
	<ul style="list-style-type: none"> 過疎の地域に若い方を送り込むという活動をしている NPO 法人で、若い方のお手伝いが必要な高齢化の進む過疎の地域のお祭りのお手伝いなどを行う。何かしたいという若者がサポートするので、要求が一致。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 福島県の被災者に耳をすまそうというプロジェクトを NPO 団体で行っており、子供達を保養したり、福島県へ相談会に出向いたりしている。 	
参加が難しいもの	<ul style="list-style-type: none"> 町内会役員活動において、各役員がずっと同じなので入りづらく、やることに変化がなく、変革しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 町内会役員を定着させない。→やることなど、いつも同じではなく、課題・変化などの意識を持つようにしていった方が良いのではないかな。
	<ul style="list-style-type: none"> 町内会活動における除雪、屋上の雪降ろしは危ないので難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> シルバー人材センターを周知してもらい、利用する。また、町内会内に町内シルバー人材センターという組織を作っても良いのではないかな。

2. 活動のイメージ（その他）

[参加しやすいもの]

- 町内会活動において、安全・見守り横断歩道の前に立つ。

[参加が難しいもの]

- 盆踊り→初めて自分で企画して実施すると考えると凄く大変だと思う。（音の問題、開催時間帯など）
- 町内会活動における子ども会→あったら良いなと思っているくらいなので、特に若い方には周知されていないと思う。
- 町内会活動におけるゴミ拾いについて、定期的な活動以外やバス停のタバコの吸い殻などは出来ていない。また、定期的にあったとしても参加者はほぼ同じ人なので、全員参加という意味では難しい。→特に若い方などの参加は難しいかと思う。
- 町内会活動における防災活動（避難場所の整理など）
- その地域に根ざした大人が一般車両に対して地域の安全のためにビラを配るなどの交通安全啓発を NPO 団体でやっていたが、それを行うとなると難しい。

3. 参加するために必要なきっかけ、ツール、場所、情報など（活動全般に必要なもの）

自ら企画して行う活動（地域を良くするために、意識的に取り組むもの）

1. 活動のイメージ（参加するために必要なきっかけ等と関連付けて話したもの）

参加しやすいもの	活動のイメージ	参加するために必要なきっかけ、ツール、場所、情報など
	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンベルトの木々が成長し過ぎて、その間にある電灯の灯が影となり効果がない所がある。 →気づいても個人では対処できないし連絡先なども分からないので、そのような街の不具合箇所を発見した時の連絡先の周知や、HP 上で不具合受付場所を設けて集約できるようにした方が良いではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラなどの不具合について、気づいても個人では対処できないし連絡先なども分からないので、そのような街の不具合箇所を発見した時の連絡先の周知や、HP 上で不具合受付場所を設けて集約できるようにした方が良いではないか。

2. 活動のイメージ（その他）

[参加しやすいもの]

- ・清掃員さんをお願いするゴミ拾いを小中高校に1か月に一度でも良いので情操教育の一環としてさせる。
- ・地域の介護施設で入居者さんの手伝いをしており、自分から何か福祉のお手伝い出来ないかという事で始めた。
- ・最近話題のエコストローを紙類にするとかを市が資源、温暖化を考え、先取りしてほしい。
- ・地下鉄の遊歩道他大通から東豊線の長いこと杖をつく老人の方の歩きを見て気の毒に感じる。
→車椅子のような移動媒体を常備し、移動のサポートをした方が良い。
- ・命の電話の方と一緒に会館を借りて朗読会をした。

[参加が難しいもの]

- ・広報力の乏しさによる一般の人向けの文化祭・体育祭の人の集まりの悪さ。
- ・交流会（飲み会）
- ・祭日には日の丸の国旗をかける。
- ・先日 11 人を火災で犠牲になった貧乏施設に掃除他お手伝いしたいが、その連絡はどのようにしたら良いか。

3. 参加するために必要なきっかけ、ツール、場所、情報など（活動全般に必要なもの）

- ・活動に対して何か特典などのお得感があれば広がる可能性がある。その活動を繰り返し行うことにより、習慣化し定着するのではないか。

②グループ

身近な活動（普段、日常的にできるもの）

◆活動のイメージ

- ・ ご近所さん声掛け、挨拶（例）レレレのおじさん
- ・ ゆるキャラの投票（イベントに登場）
- ・ 各区のキャラと交流を深める→インスタなどで拡散
- ・ 麻生のゴミ侍様とのコラボ活動
- ・ こども 110 番、戸建、集合難しい

◆参加するために必要なきっかけ、ツール、場所、情報など

- ・ 中高生からのあいさつ
- ・ あいさつ活動
- ・ ゆるキャラ利用方法わかれば
- ・ 高齢者もスマホ使い始めている SNS（地域ごと）
- ・ 若い人が参加しやすい方法、イベントなど働いている人の時間帯
- ・ まち友（まちコンみたいな）イベント
- ・ 知り合う機会、あいさつ、イベント、SNS

町内会活動や団体活動（NPOなど）への参加・協力

◆活動のイメージ

- ・ 町内会：仕事場で地域とかかわる機会が多い
- ・ 町内会のおまつり、小さなコミュニティの活動
- ・ 町内会まつり回覧板
- ・ 町内会活動に参加したい
- ・ ラジオ体操、一人暮らしの方々への訪問
- ・ 地域のイベント（近場の団体が集まって演奏とか）
- ・ P T A
- ・ 夜に見廻り
- ・ スクールガード
- ・ 植樹、ゴミ拾い
- ・ 健康づくり、スポーツセンター、体育館（無料開放）
- ・ 北海道の道民の健康寿命をのばすことを目標にいます。←笑いと健康を共に考える団体あります。
- ・ バリアフリー

◆参加するために必要なきっかけ、ツール、場所、情報など

- ・ 地域活動、参加ポイント制度の導入
- ・ 防犯、危険性・事件などを共有する場
- ・ タカトシランドみたいに地元のこと知る方法、地域の店など知ることができる
- ・ 何をやっているのか伝える
- ・ 町内会へのアクセスする方法を明らかにして、参加したい人が（集合住宅）アクセスできる方法

自ら企画して行う活動（地域を良くするために、意識的に取り組むもの）

◆活動のイメージ

- ・ 子供食堂
- ・ 放課後、勉強を見てあげる

◆参加するために必要なきっかけ、ツール、場所、情報など

- ・ 存在を知って顔出す気軽にかかわる

- ・交流会団体等の活動知るキカイ
- ・地域に昔からあるものが大事にされるまちづくり、語りべおもしろく
- ・地域愛がもてる。←自分の住んでいる地区の歴史を学ぶ機会をもつ
- ・歴史とかが書いてある看板
- ・スタンプラリー

③グループ

身近な活動（普段、日常的にできるもの）

1. 活動のイメージ（参加するために必要なきっかけ等と関連付けて話したもの）

2. 活動のイメージ（その他）

- ・小学生の通学路の見守り、家の周りのゴミ拾い、近所の雪かきは、家に近い、時間が短いなど制約が少ないため参加しやすい。

3. 参加するために必要なきっかけ、ツール、場所、情報など（活動全般に必要なもの）

- ・市民がやっているという意識を持つことができると良い。具体的には、数字などによる見える化により効果がわかりやすくなると良い。
- ・一日一善くらいの軽い気持ちで取り組める雰囲気があると良い。

町内会活動や団体活動（NPOなど）への参加・協力

1. 活動のイメージ（参加するために必要なきっかけ等と関連付けて話したもの）

活動のイメージ	参加するために必要な きっかけ、ツール、場所、情報など
<ul style="list-style-type: none"> ・町内会のお祭りや運動会、子供たちによる火の用心の声掛けなどの町内行事のほか、子ども食堂などの取組がある。これらは、行事の内容や取り組み方によって難易度が異なるため、参加しやすいとも参加しにくいとも言い難い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂は、単身高齢者や母子家庭の子どもなどが対象だが、誰もが参加できる仕組みにするのが良い。また、例えば取組場所として空家を活用したり、食器なども不用品として寄付されたものを使うことができれば、取組のハードルが下がるのではないかと。

2. 活動のイメージ（その他）

- ・雪かきボランティア、高齢者世帯の雪かきを行う団体、キリタツ湿原ナショナルトラストなどがあるが、取組の内容などのイメージがつきにくく、参加が難しい。
- ・茨城の「ナルク」というNPO法人では、「できることBANK」という仕組みがあり、支援を受けたい人のニーズ（内容・時間）に応じて、支援できる人を紹介してもらえるようになっている。
なお、支援を受けたい人は、その対価をお金か労働（他の要支援者の支援）で支払う仕組みになっており、他の要支援者の支援を行うとその分の時間を、貯金できる仕組みがあった（例えば1時間誰かの支援をすると、自分が必要な支援を1時間受けられる）。

3. 参加するために必要なきっかけ、ツール、場所、情報など（活動全般に必要なもの）

- ・地下鉄やバスなど、不特定多数の人に見えるところにまちづくり活動の情報を載せると良い。
- ・札幌市内各所に掲示板を置くなども良い。また、情報がたくさんあってどこを探せば良いかわかりにくいいため、情報の入り口となる場所・ツールなどがわかりやすく宣伝されていると良い。
- ・インターネットを使わない高齢世代もたくさんいるので、広報やチラシなど、アナログの発信も重要である。

自ら企画して行う活動（地域を良くするために、意識的に取り組むもの）

1. 活動のイメージ（参加するために必要なきっかけ等と関連付けて話したもの）

活動のイメージ	参加するために必要な きっかけ、ツール、場所、情報など
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校などで、保護者が児童に専門知識を教える授業が行われているところもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに専門知識を教える授業は、参加者側の子どもも運営に巻き込むと良い。

2. 活動のイメージ（その他）

- ・高齢者など、定年退職した方の専門的（技術的）な話を子どもに聞かせる会がある。
- ・これらは活動場所の手配や、人を集めるなどの手間がかかるため、取り組むことが難しい。

3. 参加するために必要なきっかけ、ツール、場所、情報など（活動全般に必要なもの）

- ・参加自由のイメージを出せると参加しやすくなる。
- ・運営側のシフトを細分化する（1時間単位など）等により、行ける時に行ける人が対応できる仕組みができると、取り組みやすくなる。
- ・一人でなく、複数人で取り組める体制を作れると良い。
- ・助ける、助けてもらうが入れ替わる、互助の仕組みができると良い。